

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第2区分

【発行日】平成16年12月9日(2004.12.9)

【公表番号】特表2000-509385(P2000-509385A)

【公表日】平成12年7月25日(2000.7.25)

【出願番号】特願平9-538815

【国際特許分類第7版】

A 6 1 K 9/06

A 6 1 K 31/573

A 6 1 K 31/58

A 6 1 K 47/10

A 6 1 K 47/44

【F I】

A 6 1 K 9/06

A 6 1 K 31/57 6 0 1

A 6 1 K 31/58

A 6 1 K 47/10

A 6 1 K 47/44

【手続補正書】

【提出日】平成16年4月15日(2004.4.15)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】補正の内容のとおり

【補正方法】変更

【補正の内容】

手 続 補 正 書

平成16年 4 月15日

特許庁長官 今 井 康 夫 殿

1. 事件の表示

平成9年特許願第538815号

2. 補正をする者

住 所 スイス国ツェー・ハー－4132 マッテンツ・エプティン
ガーシュトラークセ51

名 称 ヤゴテック・アーゲー

3. 代 理 人

住 所 東京都千代田区麹町一丁目10番地(麹町広洋ビル)
電 話 (3261)2022

氏 名 (9173) 高 木 千 嘉

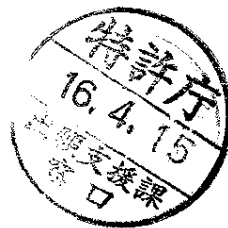


4. 補正対象書類名

明 細 書、請 求 の 範 囲

5. 補正対象項目名

明 細 書、請 求 の 範 囲



6. 補正の内容

- 1) 請求の範囲を別紙のとおり補正します。
- 2) 明細書第2頁第6行の「固形物粒子して」を「固形物粒子として」と補正します。
- 3) 同第4頁下から2行の「組み合わせたものを」を「組み合わせを」と補正します。
- 4) 同第5頁第3～9行の「一層特定のには、……組成物である。」を以下のとおり補正します。

「 さらに詳しく云えば、本発明の固形組成物はその担体系が、活性剤の溶媒としてのプロピレングリコール、ブチレングリコール、ジプロピレングリコールおよび（または）ジブチレングリコールから選択されるアルキレングリコールと組み合わせた不飽和脂肪酸アルコールおよび組成物に固形物のコンシステンシーを付与するための剛性化剤を含み、前記アルキレングリコールが前記不飽和脂肪酸アルコールとの相互溶解ならびに前記活性剤の溶解が得られる量で存在する組成物である。」

以 上

請求の範囲

1. 担体系に溶解した生物学的活性剤を含有する固形組成物であって、その組成物は均質であり、そしてその担体系は、プロピレングリコール、ブチレングリコール、ジプロピレングリコールおよび（または）ジブチレングリコールから選択されるアルキレングリコールと組み合わせた不飽和 $C_{16} \sim C_{20}$ -脂肪酸アルコール 20～85 重量%からなる活性剤のための溶媒、固形物のコンシステンシーを組成物に付与するためのろう様の物質 15～55 重量%からなる増粘剤、および可塑化油 30 重量%以下からなる可塑剤を含有し、ここで上記アルキレングリコールは少なくとも 12 重量%の量で存在し、ここでの全ての%は担体系の全重量を基準とする上記固形組成物。
2. 生物学的活性剤がコルチコステロイドを含めてのステロイド、アンドロゲン、エストロゲンおよびそれらの誘導体を含めての性ホルモン、ビタミン A、D2、D3、E、K およびそれらの誘導体を含めてのビタミン、生物学的に活性な脂質、脂肪酸、抗ウイルス剤、抗菌剤、殺原虫剤および抗真菌剤を含めての抗生物質および抗菌物質並びに局所麻酔剤から選択される請求項 1 記載の組成物。
3. 生物学的活性剤がクロベタゾールまたはその塩もしくはエステルである請求項 2 記載の組成物。
4. 組成物が局所用に適した粘度を有する、ヒトを含む哺乳動物の皮膚への局所適用のための請求項 1～3 のいずれか 1 項に記載の組成物。
5. 皮膚科疾患の治療または予防処置用医薬の製造のための請求項 1～3 のいずれか 1 項に記載の組成物の使用。
6. 生物学的活性剤をこのための該溶媒中に溶解し、得られた溶液に固形物のコンシステンシーを付与するためにこの溶液を該増粘剤および該可塑剤と一緒にし、そして得られた組成物を所望の形状に成形することからなる、請求項 1～3 のいずれか 1 項に記載の固形組成物の製造方法。